



# 2025年度横浜市国際学生会館報告書

ANNUAL REPORT 2025 YOKOHAMA INTERNATIONAL STUDENT HOUSE



YOKOHAMA  
INTERNATIONAL  
STUDENT HOUSE



## 目次

第1章	2024年度 学生会館の主な取組	1
第2章	事務事業体系図	5
第3章	会館の概要	6
第4章	総務関係	
1	宿泊施設の提供	7
2	危機管理	9
第5章	自主事業関係	
1	国際理解事業	10
2	地域貢献事業	14
3	留学生支援事業	15
4	行政施策への協力	17
5	広報事業	18
第6章	イベントカレンダー	19
第7章	予算決算書	23
第8章	留学生統計	24

# 第 1 章 2025 年度会館の主な取組

1994年(平成6年)5月に設置された横浜市国際学生会館をこれまでに利用した学生は、95か国・地域、延べ2,390名にのぼります。開設当初は、来日する留学生に対し、住居をはじめとする生活支援を行うことが主な役割でした。しかし、時代の変化とともに各種交流事業を展開し、市民と留学生が共に国際意識を高め、グローバルに活躍できる人材を育むという本来の目的が着実に実現されつつあります。現在では、学生会館が果たすべき役割と使命はさらに広がっています。

4月1日の新規入居者受け入れとともに、学生会館の年間行事がスタートしました。新入居者歓迎会を開催し、留学生同士や事務職員との交流を通して、新生活への不安を和らげ、親睦を深める機会としました。

各種事業については、主に対面形式で実施し、直接顔を合わせながら交流を深めることを重視しました。文化講座では、6月に「ウズベキスタン」、12月に「南アフリカ」をテーマとして開催し、それぞれの国の歴史や文化を紹介するとともに、留学生と参加者との交流を図りました。また、7月には、自国文化を紹介したい留学生と、留学生との交流を希望する地域住民双方の要望を受け、「地域交流会」を開催しました。

潮田交流プラザ 3 館合同秋まつりでは、14か国・地域の料理、飲み物、お菓子などを来場者に提供し、食文化を通じた国際交流を行いました。また、より多くの留学生と交流できるようスタンプラリーも実施し、景品として学生が企画・デザインしたオリジナルクリアファイルを配布しました。会場は多くの来場者で賑わい、国際交流の場として大いに盛り上がりました。

さらに、「Stock Base(賞味期限が近い災害備蓄品を提供したい企業と、それを必要とする支援団体をマッチングするプラットフォーム)」を通じて、水や防災セットなどの提供を受け、適宜、入居者や地域住民へ配布しました。



潮田西部地区納涼祭



潮田西部地区大運動会



文化講座



YRA 自主事業

# Ⅰ 総務関係

## (1) 入退館業務

2025 年度の入居者募集では、「単身室」の希望者数が昨年度より増加し、倍率が上昇しました。そのため、今年度は「単身室」の二次募集を実施せず、7 月に入居期間を 8 月から 12 月までとした「家族室」のみの二次募集を行いました。しかし、「家族室」の希望者は少なく、4 室が空室となりました。

また、横浜市立大学からの交換留学生の受入人数は、4 月の 8 名から 9 月には 20 名へと増加しています。9 月は秋まつりの準備で多忙な時期ではありますが、この時期に受け入れることで、留学生が秋まつりに参加し、既に入居している学生たちとの交流のきっかけとなるなど、良い効果が生まれています。

## (2) 建物設備の維持管理

今年度は、潮田交流プラザの外壁大規模修繕を 5 月から 11 月までの約半年間にわたり実施いたしました。期間中は建物全体が足場で覆われ、施設利用者および入居者にはご不便をおかけいたしました。皆様のご理解とご協力により、大きなトラブルもなく無事に工事を完了することができました。今回の修繕では、タイル面の補強やシーリングの打ち替え、壁面・鉄骨箇所再塗装、バルコニー床の防水工事等を行い、建物全体の安全性と美観を向上させております。あわせて、設置した足場を活用し、共用部分の照明 LED 化工事も同時に実施いたしました。

このほか、防火シャッターや消火設備の不具合修繕、老朽化した機械室換気扇の交換など、経年劣化に伴う補修を適宜行い、施設の維持管理に努めました。また、退去後、害虫の発生が確認された複数の部屋については、専門業者による駆除作業を迅速に実施し、衛生環境の確保を図っております。

なお、2026 年度には全館の空調設備大規模修繕を予定しております。今年度はその準備段階として、設計者との打ち合わせや現場確認を重ねてまいりました。次年度の円滑な施工に向け、引き続き計画的に準備を進めてまいります。

## (3) 危機管理対策

潮田交流プラザの 3 施設合同防災訓練を、4 月と 12 月の年 2 回実施いたしました。4 月は新入居の留学生を主体とした火災避難・消火訓練および煙体験を行い、12 月には地震発生を想定した避難訓練を行いました。特に春の訓練は、入居直後の留学生が一堂に会し、共通の目的を持って協力し合う最初の機会となっており、防災意識の啓発のみならず、入居者間の初期コミュニティ形成を促進する貴重な場となっています。

また、非常時における情報伝達の確実性を高めるためをスムーズに行うため、年 2 回の安否確認訓練を継続しております。安否確認メッセージの送信は、E メールと LINE アプリ (YISH emergency 2025) を併用しており、平日昼間の発信にもかかわらず、多くの学生からの速やかな回答を確認することができました。

## 2 自主事業関係

### (1) 国際理解事業

スクールビジットクラス(出前授業)については、今年度も訪問した全ての学校において留学生たちを温かく迎えていただき、多様な内容の授業を実施することができました。和やかな雰囲気の中で交流が行われ、学校の児童・生徒にとっても、留学生にとっても、充実した学びと交流の機会となりました。

また、鶴見大学附属中学高等学校で放課後に開催される「イングリッシュカンバセーションラウンジ」には、年間を通じて2名の留学生を派遣講師として派遣し、高校生との交流を深めました。さらに、3月には横浜サイエンスフロンティア高校で開催された英語によるポスター発表会に30名の留学生がオブザーバーとして参加し、高校生の英語力や学習意欲の向上に協力しました。

オンライン会話サロンは英語で実施し、参加した留学生からも「楽しい時間を過ごせた」との感想が寄せられるなど、非常に充実した交流の機会となりました。

地域住民と留学生との交流促進を目的として「留学生との交流会」を企画・実施しました。フリートーク形式で様々な人々と多彩な話題について交流することができ、留学生・参加者双方にとって満足度の高いイベントとなりました。また、日本語と英語の両方で開催したことで、日本語を話せない留学生にも地域住民と交流する機会を提供することができました。

母国文化を紹介する「文化講座」では、前期にウズベキスタン、後期に南アフリカをテーマとした講座を開催しました。文化紹介に加え、食べ物の試食や文字紹介などの体験型ワークショップも実施し、来場者に好評を得ました。また、潮田地区センターおよび寺尾地区センターとの共催講座では、ベラルーシやネパール出身の留学生とその家族を講師として派遣し、それぞれの国の魅力や食文化、言語について紹介しながら参加者との交流を図りました。

このほか、TIF(戸塚国際ナショナルフォーラム)、イムス看護専門学校、LEED(英語ディスカッショングループ)、鎌倉YMCAなどへ留学生をゲストスピーカーとして派遣し、英語力向上支援と国際交流活動に取り組みました。

「ホームビジット」事業では、5名の留学生が登録家庭を訪問し、日本人家庭との交流を行いました。総勢13名の市民と留学生が参加し、地域における国際交流推進の一翼を担いました。

横浜市国際学生会館では民族衣装の貸出を行っており、2025年度の民族衣装貸出件数は41件でした。

### (2) 地域貢献事業

潮田交流プラザ秋まつりでは、例年通り「国際ナショナル・カフェ」を企画し、様々な国のお茶やお菓子、食べ物の試食を提供しました。今年度は建物外壁工事に伴い、安全面を考慮して「国際屋台村」の屋外ブースに代わり、1階に案内ブースを設置し、非常備品の展示および1か国の飲み物の提供を行いました。また、来場者がより多くの留学生と交流できるよう「スタンプラリー」を実施し、会館に入居しているレジデントアシスタント(RA)がデザインしたオリジナルクリアファイルを記念品として配布しました。さらに、自国文化を紹介したい留学生と、留学生との交流を希望する地域住民双方の声を聞き、地域交流会を開催しました。交流会では食文化をテーマとした交流を行い、相互理解を深める機会となりました。

そのほか、潮田神社例大祭、潮田西部地区連合納涼祭、潮田西部地区大運動会、潮田地区防災訓練、潮田地区支え合いパーティー、本町四丁目自治会もちつき大会、地域防災拠点開設訓練など、例年実施されている地域行事も通常通り開催されました。これらの行事には留学生やその家族が積極的に参加し、地域住民との交流を深めました。

### (3) 留学生支援事業

学生会館では、活動するボランティアと留学生とのマッチングを行い、生活支援、日本語学習支援、就職支援などを継続的に実施しています。「ボランティア主体事業」では、ボランティアが中心となって、日本文化や日本人への理解を深めてもらうための取り組みを行っており、2025年度は、おにぎり作り体験やひな祭りの飾り作りなどを実施しました。

また、ボランティア育成のため、「情報交換会」や研修会を開催しました。2025年度は、地域の日本語教育の専門家を講師として招き、日本語支援活動に関する研修を行うことで、次年度以降の学生会館における日本語サポート体制の充実につなげることができました。

毎月、レジデントアシスタント(RA)および留学生会(YRA)代表とのミーティングを実施し、入居者と職員との情報共有や意見交換を行いました。双方の視点から学生会館運営における改善点を検討する場として活用しています。さらに、RAが中心となり、日本の年中行事の紹介や小旅行の企画などを行うことができる環境を整備しており、毎月2回程度のRA主催イベントを実施しました。また、留学生自身が自国の料理や文化、行事などを紹介するイベントを企画し、RAやYRAが協力して実施できるよう支援を行いました。

学生会館での生活に早く慣れ、入居者同士の交流を深めることを目的として歓迎会を開催し、職員やRAだけでなく入居者同士の親睦を深める機会を設けました。また、送別会も開催し、それぞれの思い出や今後の抱負などを語り合う機会を提供しました。

このほか、企業で余剰となった備蓄食料やノベルティ等を必要とする団体へ提供する仕組みや、物品寄贈先マッチングプラットフォームを運営する企業から物品提供を受け、年間を通じて入居者へ配布しました。

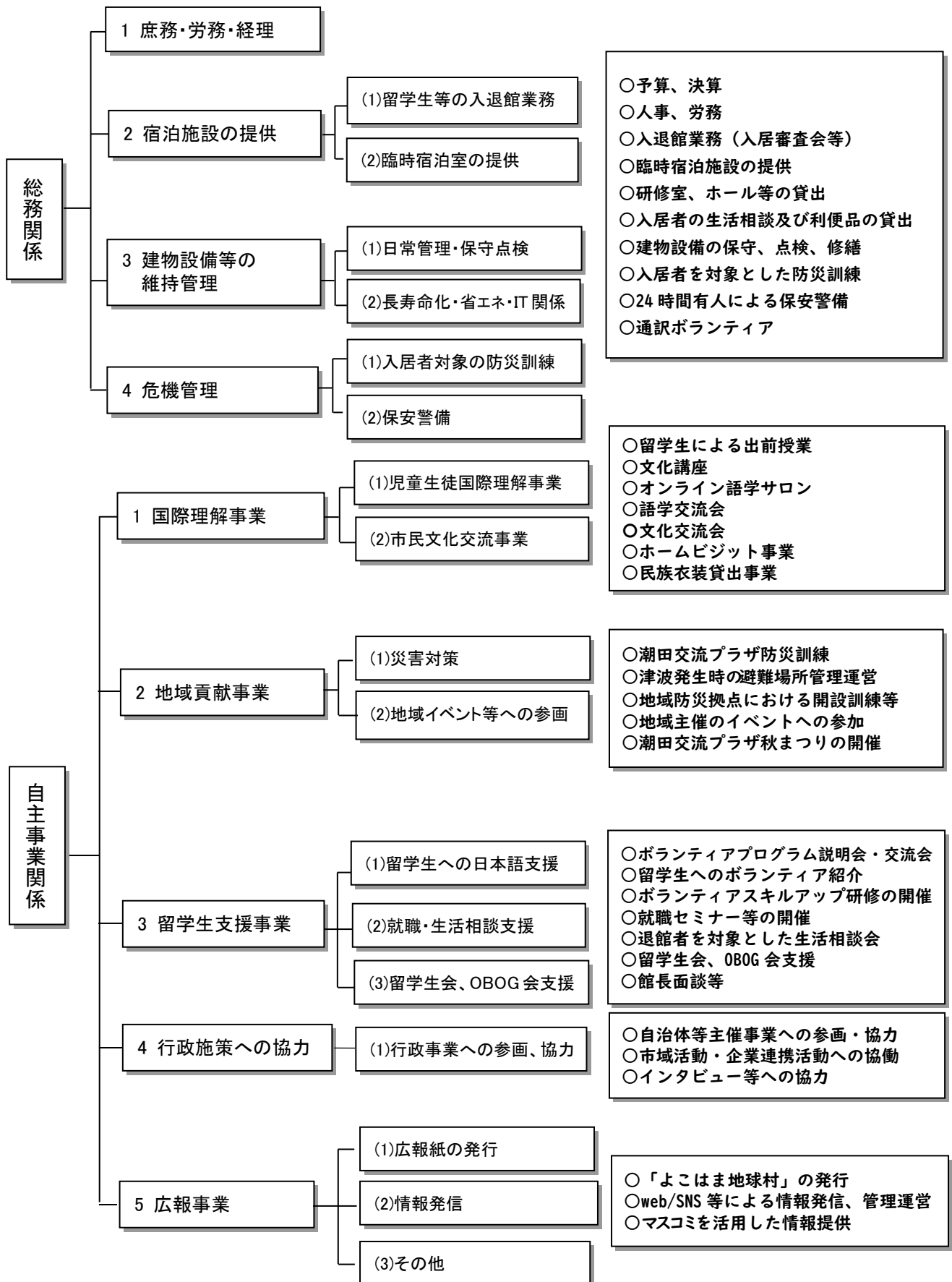
### (4) 行政施策への参画・協力

横浜市で開催したアフリカ開発会議(TICAD9)では、市内留学生と市民とともに会議に向けた啓発活動を行いました。また、内閣官房万博国際交流プログラムとして、駐日エチオピア連邦民主共和国大使が来館し、留学生や高校生と交流したほか、大阪・関西万博への訪問も実施しました。横浜市主催「アジア・スマートシティ会議」では、企業と共にブース展開を行う連携を行うとともに企業見学を含むプログラムを実施し、横浜市への就労意欲を高めました。国連ピースサークル関連事業として横浜での平和事業に参加し、市内若者と議論しました。

### (5) 広報事業

季刊紙『よこはま地球村』、ホームページ、行政の広報紙、地域情報紙を活用して文化講座や日本語と英語それぞれでの「留学生との交流会」の実施、民族衣装の貸出、地域イベントへの参加など会館の事業に関する情報を発信しました。また、テレビ・新聞・広報誌のほか、web/SNS等の独自媒体で会館活動報告や情報を発信しました。

## 第2章 事務事業体系図



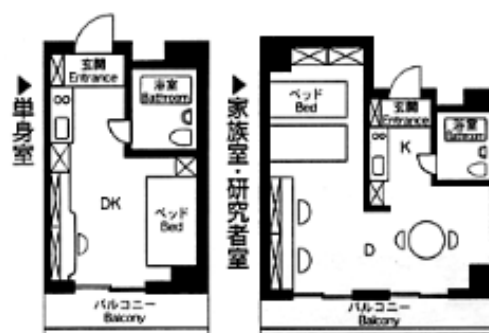
## 第3章 会館の概要

- ◇**設立目的** 横浜市内の大学等に通う留学生等に対して宿泊施設を提供するとともに、さまざまな交流事業を通して市民の国際理解の増進に寄与することを目的としています。
- ◇**名称** 横浜市国際学生会館
- ◇**所在地等** 〒230-0048 横浜市鶴見区本町通4丁目171番地の23  
Tel 045-507-0121 Fax 045-507-2441 <https://yish-yoke.com/>
- ◇**設置者** 横浜市
- ◇**開設日** 1994(平成6)年5月1日
- ◇**運営主体** 公益財団法人横浜市国際交流協会が第4期指定管理者として管理運営を行っています。
- ◇**施設概要** 建物概要:鉄骨・鉄筋コンクリート造、地下2階地上13階建  
総称名「潮田交流プラザ」  
1階 潮田地域ケアプラザ、2階 潮田地区センターとの複合施設  
学生会館部分施設概要:3階~13階/延床面積 6,969.22㎡  
3・4階 事務室、ロビー、ホール、研修室、ラウンジ、音楽室、談話室、学習室  
5~13階 宿泊室、洗濯室、図書室、倉庫

### ◇宿泊施設

横浜市内の大学・大学院・専修学校等に通う留学生や、市内研究機関等で研究するために来日する海外の研究者に宿泊施設を提供しています。また、OBOG や入居者の親族等が宿泊できる臨時宿泊室もあります。

宿泊室種類	室数	定員
単身室 (18㎡)	95	95
家族室 (38㎡)	10	20
研究者室 (38㎡)	5	10
臨時宿泊室(18㎡)	5	10
合計	115室	135人



居室レイアウト(例)

### ◇研修室・ホール

国際交流や異文化理解を目的とする会合や催しに利用できます。

- ・研修室2室(定員38人、18人)/3階ホール(定員80人)

### ◇学習室・ラウンジ

4階に、書籍を閲覧できる学習室とラウンジがあります。

### ◇生活利便性の提供

全館にインターネット環境が整備されています。入居者は自転車、掃除機、スポーツ用具などを借りられるほか、3階ロビーで新聞の閲覧や、4階音楽室で楽器の練習ができます。

# 第4章 総務関係

## I 宿泊施設の提供

### (1) 留学生の入退館業務

2025年4月の入居者は、28か国・地域の93人(留学生82人、レジデントアシスタント7人、研究者4人。)でした。横浜市大の交換留学生の優先枠は20室で、留学生募集数42(単身室:留学生36室、※RA4室、家族室:6室)、倍率は1.5倍(留学生応募総数65人)でした。

#### 2025年度入居状況 4月1日現在

##### 1 校種別

学校別	留学生・RA			研究者	合計	
	単身室	家族室	小計			
1 大学院	37 (4)	6	43 (4)		43	(4)
2 大学	19 (3)		19 (3)		19	(3)
3 専門学校	27		27		27	
4 研究機関			0	4	4	
計	83 (7)	6	89 (7)	4	93	(7)

※ ( ) の数値は、RAの人数

##### 2 出身地別 (同居人を除く)

(計 28か国/地域)

出身別	留学生・RA			研究者室	合計	
	単身室	家族室	小計			
1 中国	23		23	1	24	
2 ミャンマー	9		9		9	
3 ネパール	7	1	8		8	
4 バングラデシュ	4		4		5	
5 アメリカ	2		2	2	4	
6 エチオピア	2	2	4		4	
7 ベトナム	4		4	1	4	
8 インド	3		3		3	
9 台湾	3		3		3	
10 イタリア	2		2		2	
11 イラン	2		2		2	
12 インドネシア	1	1	2		2	
13 韓国	2		2		2	
14 イギリス	1		1		1	
15 ウズベキスタン		1	1		1	
16 オーストリア	1		1		1	
17 ガーナ		1	1		1	
18 カナダ	1		1		1	
19 カンボジア	1		1		1	
20 コートジボワール	1		1		1	
21 スリランカ	1		1		1	
22 ブラジル	1		1		1	
23 ベラルーシ	1		1		1	
24 マレーシア	1		1		1	
25 南アフリカ	1		1		1	
26 ロシア	1		1		1	
27 新疆ウイグル自治区	1		1		1	
28 日本	7 (7)		7 (7)		7 (7)	
計	83 (7)	6	89 (7)	4	93 (7)	

※ ( ) の数値は、RAの人数

家族室の子供を含む入居者の総数は、4月時点で109人でした。

内訳は、大学院生43人、学部生19人、専門学校生27人、研究者4人、同居家族16人で、専門学校生が増えています。

学校別では多い順に、横浜市立大学20人(22%)、横浜国立大学19人(20%)、東京藝術大学8人(9%)でした。



3 学校別		留学生・RA									研究者	合計						
		単身室			家族室			小計										
		院	学部	専門	院	学部	専門	院	学部	専門								
1	国立	横浜国立大学	13			6			19	0			19					
2		東京藝術大学大学院	8 (1)						8 (1)	0			8 (1)					
3	公立	横浜市立大学	8 (2)	12 (2)					8 (5)	12			20 (5)					
4		関東学院大学	1	4 (1)					1	4			5 (1)					
5		東京都市大学	4						4	0			4					
6	私立	フェリス学院大学		2					0	2			2					
7		慶応義塾大学	2						2	0			2					
8		情報セキュリティ大学	1						1	0			1					
9		横浜商科大学		1					0	1			1					
10		岩谷学園よこはまITビジネス専門学校			5				0	0	5		5					
11		横浜YMCA学院専門学校			6				0	0	6		6					
12		アーツカレッジヨコハマ			3				0	0	3		3					
13		横浜デザイン学院			6				0	0	6		6					
14	専門学校	あずま工科専門学校			1				0	0	1		1					
15		グレッグ外語専門学校			1				0	0	1		1					
16		東京総合写真専門学校			2				0	0	2		2					
17		横浜システム工学院専門学校			2				0	0	2		2					
18		横浜ファッションデザイン専門学校			1				0	0	1		1					
19	その他の機関	理化学研究所										2	2					
20		アメリカ・カナダ大学院日本研究センター							0	0	0	2	2					
計			37	(3)	19	(3)	27		6	0	0	0	43 (6)	19	0	27	4	93 (7)

※ ( ) の数値は、RAの人数

## 《満足度調査》

退館者及び延長者に対し無記名での満足度調査を行い(集計数)、結果は全てにおいて高評価でした。

- ・住み心地： 97.2%
- ・スタッフ対応： 98.1%
- ・安心・安全： 98.1%
- ・施設設備： 94.4%

## (2) 臨時宿泊室の提供

会館には、入居者の親族や友人、また OB・OG が来館した際に利用できる臨時宿泊室を 5 室設置しています。2025 年度の稼働率は 61.1% (1,115 泊) となり、前年度をやや上回る利用状況となりました。



## 2 危機管理

### (1) 消防避難訓練

4月19日(土)に実施した第1回合同防災訓練には、全館から78名が集まりました。各設備の操作方法や避難ルートの確認に加え、消防署協力のもと設置された「煙ハウス」での視界不良体験や、水消火器を用いた実践的な消火訓練にも取り組みました。

続く12月13日(土)の第2回訓練では、全館で100名以上もの参加があり、大地震の発生を想定した避難訓練を行いました。



放送訓練



煙ハウス体験



避難はしごの使い方

### (2) 安否確認訓練

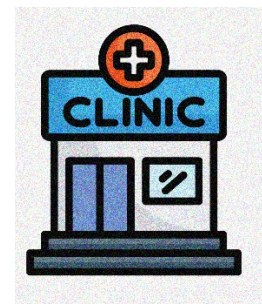
全入居者と職員にEメールとLINEアプリ(YISH emergency 2025)の2種類の送信方法で安否確認訓練を行いました。LINEを併用するようになってから、送信当日に素早く反応してくれる学生が多くなり、よりスムーズに安否を確認できるようになっています。

- ・ 第1回(6月18日)返信率: 85%
- ・ 第2回(1月14日)返信率: 87%

### (3) 体調不良時等のサポート

2025年度は、英語や日本語による医療相談を計9件受け付け、近隣医療機関の紹介等のサポートを行いました。特に今年度は、来日直後に体調を崩した交換留学生への深夜対応や、家族室に入居する学生の配偶者の出産に関する相談など、緊急性や個別性の高いケースも見受けられました。

また、夜間や休館日に体調不良者が発生した際には、レジデント・アシスタント(RA)や日本語の堪能な学生、同国の友人たちが自発的に寄り添い、受診の付き添いや介抱を行う場面が数件ありました。事務室による細やかな支援と入居者同士の温かい助け合いは、慣れない日本で暮らす留学生にとって、心強い支えとなっています。



## 第5章 自主事業関係

### I 国際理解事業

#### (1) 児童生徒国際理解事業

##### ① 留学生によるスクールビジットクラス(出前授業)

留学生が市内の小・中・高校の授業に講師となり、留学のきっかけ、日本での興味関心、研究テーマなどについて語りました。また、出身国の文化(挨拶の言葉、遊び、民族衣装等の紹介)や社会状況なども紹介しました。

「スクールビジットクラス(出前授業)」を通して日本との違いや共通点を肌で感じ、留学生と各国について関心を持ってもらうと共に、質疑応答や交流を通じて異文化理解、相互理解を深めました。

《出講実績》

- ・実施期間:5月12日~2月20日
- ・派遣講師:留学生 延べ32名
- ・実施校数:14校42クラス(小学9校、中学校5校)



作製した画像を見せながら丁寧に自国の言葉や文化を紹介しました。(横浜市立菊名小学校)



1~2年生合計8クラスの生徒が体育館に集まりました。(横浜市立綱島小学校)

##### ② 子どもアドベンチャーカレッジ

横浜市教育委員会事務局が、毎年夏休み期間中に民間企業や公的機関等の協力を得て実施している「子どもアドベンチャーカレッジ」に、今年度初めて参加しました。

当日は、学生会館がどのような施設であり、どのような業務を行っているのかについて、実体験を交えながら子どもたちに紹介しました。これにより、学生会館の仕事や地域における役割について理解を深めてもらう機会となりました。



学生会館が実施しているスクールビジットクラスにおける、留学生による母国紹介の様子

### ③ グローバル人材の育成

鶴見大学附属中学高等学校で放課後に開催される「イングリッシュカンパセーションラウンジ」には、年間を通じて2名の留学生を派遣し、高校生との交流を通じて英語力向上支援に努めました。

また、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校・附属中学校で開催された「生徒課題研究発表会(YSF-FIRST 2025)」には、30名の留学生が参加しました。高校生による英語での研究発表に対し、質問やコメントを行うなど積極的に交流し、生徒たちの学習意欲や英語による発表力向上に協力しました。

## (2) 市民文化交流事業

### ① 国際理解講座、交流会

オンラインを利用して留学生が日本人とマンツーマンで自国の言葉で会話する「オンライン会話サロン」を実施しました。留学生にとっては自国の言葉で話せる気軽さがあり、日本人にとっては自分のペースで興味のあることを何でも質問できる機会でした。

6月と12月には文化講座を実施しました。留学生が自国の地理的条件・伝統・文化等について来場者に紹介しました。自国の茶菓・料理を提供したり、自国の文字で来場者それぞれの名前を書いてあげたりと自国への理解を深める工夫があり、来場者にとっても印象深い講座となりました。昨年度から留学生と一般市民の交流のため「留学生との交流会」を新たに立ち上げました。日本語ができない留学生のために日本語での交流会だけでなく英語での交流会も開催し、留学生が普段は接することがない様々な人たちと交流して日本について理解を深めることができました。

一昨年度からこの時期の文化講座は、留学生地域交流事業(公益財団法人中島記念国際財団助成)として採択されています。

また、潮田地区センターとの共催講座「ベトナムの留学生に学ぶ～文化と歴史～」、「留学生に学ぶフィリピンのクリスマス料理と文化」と寺尾地区センターとの共催講座「留学生に学ぶ～ミャンマーの伝統的な文化～」、「留学生に学ぶ～ウズベキスタンの料理と文化～」、「語学講座～韓国語と韓国の今～」も実施しました。その他に、保土ヶ谷国際交流ラウンジの「食の国際交流イベント」での講師としてスリランカの留学生を派遣しました。TIF(戸塚インターナショナルフォーラム)と鎌倉YMCAでの英会話のゲストスピーカーとして留学生を派遣して、英語力の強化と交流に努めました。

- ・ オンライン会話サロン:1ヶ国語2回(参加者:市民等4名、学生2名)
- ・ 文化講座 :2回(参加者:市民等40名、学生22名)
- ・ 留学生との交流会(日本語):1回(参加者:市民等14名、学生12名)
- ・ 留学生との交流会(英語):2回(参加者:市民等51名、学生27名)

実施日	講座名
8月7日 ～8月21日	オンライン会話サロン ・英語2回

実施日	講座名	
6月29日	<p><b>留学生による文化講座</b>            テーマ:「～ウズベキスタンってどんな国?～」            講師:ウズベキスタンから横浜国立大学の留学生            ・ウズベキスタンの文化/自然/人々の生活等の紹介            ・ウズベキスタンの伝統料理紹介            ・ウズベキスタンの経済            ・ウズベキスタンの茶菓の提供</p>	
7月19日	<p><b>留学生との交流会(英語)</b>            ・フリートークによる留学生と一般の市民との交流            ・17～18分ごとの席替えで多くの相手と交流            ・できるだけ平易な英語での会話</p>	
12月20日	<p><b>留学生による文化講座</b>            テーマ:「南アフリカーその多様な自然、文化と人々の暮らし」            講師:南アフリカから慶応大学の留学生            ・南アフリカの自然と文化の紹介            ・南アフリカの民族や有名人の紹介            ・南アフリカの動物の生態やクイズ            ・南アフリカの茶菓の提供</p>	
1月24日	<p><b>留学生との交流会(日本語)</b>            ・フリートークによる交流            ・日本人と会話したい留学生にとっての場づくり            ・外国語が話せない市民への外国人と話す機会提供</p>	
1月31日	<p><b>留学生との交流会(英語)</b>            ・フリートークによる交流            ・15分ごとの席替えで多くの相手と交流            ・できるだけ平易な英語での会話</p>	

## ② ホームビジット

ホームビジットは、草の根の国際交流のきっかけづくりとなる、留学生に人気の高いプログラムです。実際にホームビジットを体験した留学生からは高い満足度が寄せられており、会館としても、今後さらに多くの留学生に利用してもらいたいと考えています。また、受け入れをしてくださるボランティアの皆さまからも好評を得ており、今後も協力いただきながら継続して実施していきたいと考えています。

2025年度は、初めて通年実施とし、6月から2月にかけて7件のホームビジットを行いました。これまで留学生からは、「日本滞在初期の段階で日本人ファミリーと知り合うことができていれば、もっと良かった」という感想も多く寄せられていたため、今後も年間を通じたマッチングを継続していきたいと考えています。



## ③ 民族衣装貸し出し

民族衣装貸出事業の2025年度の貸出件数は41件となりました。2023年度は6件、2024年度は19件であり、近年大幅に利用件数が増加しています。これは、広報活動の強化や利用者からの口コミによる効果が大きいと考えられます。

貸出した民族衣装は、市内小学校での朝のあいさつ運動をはじめ、NHKの教育番組、保育園・高校・大学の文化祭、地方の国際交流イベント、「ワールドフェスタよこはま」など、様々な場面で活用されました。

今後は、市内の公的団体を中心に、より多くの方々に活用していただけるよう、民族衣装のラインナップの充実に努めていきます。



## 2 地域貢献事業

### (1) 地域イベント等への参画/参加

2025年度は、留学生と地域住民との交流を深めることを目的として、地域行事や交流事業への参加・実施を積極的に行いました。

6月に開催された潮田神社例大祭には、2日間にわたり多くの留学生とその家族が参加しました。本町通りパレードには約44名の留学生が参加し、祭りを盛り上げました。前日には地域住民とともに本町通四丁目自治会の神輿を担ぎ、日本の伝統文化を体験しながら地域との交流を深めました。

7月12日には、自国文化を紹介したい留学生と、留学生との交流を希望する地域住民双方の声を受け、「地域交流会」を開催しました。イラン、ミャンマー、インドネシア出身の留学生とその家族が自国の代表的な料理を作り、地域住民や他国からの留学生に食文化や食生活を紹介しました。地元婦人会の方々も日本料理を持参し、参加者全員で各国の料理を囲みながら交流を深めるなど、盛況な交流の場となりました。

潮田交流プラザ3館合同秋まつりでは、留学生の希望をもとに「インターナショナル・カフェ」を企画し、14か国の料理やお茶、お菓子を提供しました。写真パネルや小物展示、ステージパフォーマンス、フォトストーリーを通じて各国文化を紹介しました。今年度は、建物外壁工事に伴う安全面への配慮から、「国際屋台村」の屋外ブースに代わり1階に案内ブースを設置し、非常備品の展示と1か国の飲み物の提供を行いました。潮田地区の5連合自治会にも協働いただき、飲食ブースを出店していただきました。来場者がより多くの留学生と交流できるよう、留学生へのインタビュー形式でサインを集める「スタンプラリー」を実施し、達成者には学生がデザインしたオリジナルクリアファイルを進呈しました。自然循環局の協力により、留学生がデザインしたロゴ入りマグカップをモチーフにした缶バッジ作り体験も実施し、特に子どもたちに好評を得ました。これらの企画には多くの留学生や学生会館ボランティアが運営に協力し、地域住民との交流促進につながりました。

「地域交流会」および「インターナショナル・カフェ」は、2025年度留学生地域交流事業（公益財団法人中島記念国際財団助成）として採択され、助成金を活用して実施しました。

10月開催の「つるみワールドフェスティバル ～三ツ池で旅する世界～」には、昨年度に引き続き22名の留学生が参加しました。近隣地域の高校生ボランティアとともに民族衣装を着用して会場内を巡り、民族衣装のPR活動を行いました。多くの市民や家族との交流を通じて、国際理解を深める機会となりました。

そのほか、潮田西部地区連合納涼祭、潮田西部地区大運動会、潮田地区防災訓練、潮田地区支え合いパーティー、本町四丁目自治会もちつき大会など、地域の恒例行事にも留学生が参加し、地域住民との交流を深めました。



秋まつり



地域交流会



潮田神社例大祭

### 3 留学生支援事業

#### (1) 留学生への日本語支援

マンツーマンの日本語サポートを希望する留学生に、ボランティアを紹介しています。基本的には対面サポートをしていますが、オンラインと併用しているペアもあります。

2023年度からボランティア登録をオンラインフォーマットに切り替えており、ホームページでもボランティア募集案内を掲載しています。今年度も新規のボランティア登録者が多く、そのほとんどがホームページ経由です。

4年前より行っている、ボランティア自身の企画・運営・実施によるグループ活動も、より主体性をもって継続しています。11月に行ったおにぎりイベントは、たまたま遊びに来ていた卒業生も参加し、総勢26名で賑やかに行われました。ボランティアのみなさんの力を大いに発揮できるイベントで、今後も継続していけるとよいと思います。

- ・ボランティア登録者:58名(2月末時点)
- ・日本語マッチング件数:13件
- ・講座・交流会参加者:68名(市民、留学生あわせて)(2月末時点)



実施日	内容
4月～3月	留学生とボランティアを随時マッチング
6月28日(土)	ボランティア情報交換会
11月8日(土)	ボランティア主体事業 おにぎりのみそ汁を作ろう!
1月18日(日)	ボランティア活動スキルアップ研修会
2月28日(土)	ボランティア主体事業 抹茶とひなまつり

#### (2) 就職・生活相談支援

留学生のための就職サポートとしては、年間を通じて国際学生会館の就職支援ボランティアがマンツーマンでサポートを行っています。外部でのハローワーク登録や合同面接会等への同行サポート等も行っています。10月に行ったOBOGから体験談を聞く会には、外部の不動産関係者や行政書士等も参加し、卒業生や市民と留学生が交流し、今後日本で生活していくためのヒントをもらっていました。

- ・10月19日(日) OBOGの就職体験談を聞く会&OBOG会 参加者数:39名
  - ・就職個別サポートマッチング数:6件
- ※学生会館内で行ったもののみ。(外部で実施しているイベント等への同行支援も別途あり。)



### (3) 留学生会支援

レジデントアシスタント(RA)と留学生会(YRA)代表は学生会館の行事等に際して入居している留学生たちの取りまとめ役・世話役として活躍し、また、独自に様々なイベントを企画・実施しました。さらに学生会館との共催で歓迎会と送別会を開催しました。

※ 留学生会(YRA)は、入居者が会員になっている親睦組織。

※ レジデントアシスタント(RA)は、日本国籍または日本永住権を持つ外国籍の学生で、職員と協力して学生会館の運営にあたる役割を担う。

- ・RA&YRA 代表ミーティング: 12回、参加者:81名
- ・YRAと学生会館との共催事業:3回、参加者:延べ126名

実施日	内容
4月12日(土)	歓迎会
9月21日(日)	秋の歓迎会
2月2日(日)	送別会



歓迎会



送別会

・留学生主体事業:22回、参加者:延べ 585 名

実施日	内 容
4月12日	歓迎会
4月19日	映画を見る会
5月17日	たこ焼きパーティー
6月1日	イタリアパーティー
5月26日	中華料理
6月21日	銭湯へ行こう
6月24日	クレープパーティー
6月28日	江の島ツアー
8月1日	韓国料理イベント
8月2日	お別れ会
8月15日	キューバ料理パーティー
8月23日	運動会
8月24日	インドネシアディナーパーティー
9月19日	映画をみる会
9月21日	秋祭りお疲れ様会&歓迎会
10月19日	たこ焼き&お好み焼き
11月15日	フィンランド料理イベント
12月13日	忘年会(鍋パーティー)
12月20日	クッキーパーティー
12月31日	年越しカウントダウン
1月11日	バングラデシュディナーパーティー
3月7日	ぎょーざパーティー



江の島ツアー



餃子パーティー



クッキーパーティー

#### 4 行政施策への協力

横浜市をはじめ、多様な団体や部署との連携活動を市内留学生とともに実施しました。

アフリカ開発会議(TICAD9)が横浜市で開催され、アフリカに関するイベント等を実施しました。また、駐日エチオピア連邦民主共和国が来館し、留学生や高校生と交流をしました。内閣官房万博交流プログラムとして、留学生が大阪・関西万博を訪問するなど、国際交流事業を展開しました。国連ピースサークルに関連する横浜市の平和事業では高校生を中心とした若者と留学生が平和について議論しました。横浜市主催「アジアスマートシティ会議」では、企業と共にブース展開連携行い、横浜市への就労意欲を高めました。また、企業見学会を中心としたプログラム「横浜スタイル」を実施しました。



アジアスマートシティ会議



「横浜スタイル」(アグリ王)



大阪・関西万博訪問

## 5 広報事業

### (1) 独自媒体を使った広報

#### ① 『よこはま地球村』の発行

季刊紙『よこはま地球村』を発行しました。

- 発行日: 124号(夏号 6月1日)、  
125号(秋号 9月1日)、  
126号(冬号 12月1日)、  
127号(春号 3月1日)

・体裁:A3 二つ折カラー印刷

・発行部数:各号 2,200部



よこはま地球村 125号

#### ② web サイト・SNS・YouTube による情報発信

横浜市国際学生会館に関する情報や留学生の日常生活の様子を横浜市国際学生会館 web サイトや SNS・YouTube で随時発信しました。

#### ③ 国際学生会館内での情報発信

横浜市国際学生会館の3階エントランスにモニターを置いて、留学生の活動を写真や動画で紹介しました。

### (2) 外部媒体を使った広報及び情報発信

広報よこはま鶴見版やタウンニュース、鶴見区民活動センター発行の「あぶりお」、新聞、テレビ、ケーブルテレビなど様々な媒体を使って横浜市国際学生会館の活動を紹介しました。



広報よこはま 8月号(鶴見版)

# 第6章 イベントカレンダー

(2025年4月1日～2026年3月31日)

2025年

開催日		事業名
4月	1日(火)～7日(月)	入居期間
	1日(火)～	ボランティア登録及びボランティアとのマッチング
	1日(火) ～2026年3月15日(日)	民族衣装貸出
	5日(土)	新入居者オリエンテーション
	8日(火)	市大交換留学生入居(入居説明&オリエンテーション)
	8日(火)	RA&YRA代表ミーティング(月1回、第1火曜日)
	12日(土)	歓迎会(Welcome Party)
	17日(木)	三施設会議(月1回、第3木曜日)
	19日(土)	潮田交流プラザ合同消防訓練 [YRA自主事業]映画会
	24日(木) ～2026年2月12日(木)	鶴見大学附属中学校・高等学校 English Conversation Lounge 参加12回
26日(土)	鯉のぼり飾り	
5月	1日(木) ～2026年2月25日(水)	留学生による出前授業(スクールビジットクラス)
	11日(日) ～2026年3月8日(日)	TIF(戸塚インターナショナルフォーラム)ゲストスピーカー参加7回
	17日(土)	[YRA自主事業]たこ焼きパーティー
	17日(土) ～2026年3月7日(土)	イムス看護専門学校ゲストスピーカー参加5回
	24日(土)	ほどがや国際交流ラウンジコートジボワール家庭料理イベントゲスト参加
	26日(月)	[YRA自主事業]中華料理
	31日(土)	LEED(英語ディスカッショングループ)ゲストスピーカー参加
6月	1日(日)	ニューズレター よこはま地球村124号 発行 「2024年度事業報告書」 発行 [YRA自主事業]イタリアパーティー
	3日(火)	駐日エチオピア大使来館・交流
	7日(土)～8日(日)	潮田神社例大祭
	14日(土)	【共催】潮田地区センター文化講座「留学生に学ぶネパールの伝統文化」
	18日(水)	安否確認メール送受信訓練1回目
	20日(金)	鎌倉YMCAゲストスピーカー参加2回
	21日(土)	留学生による文化講座「ウズベキスタン」 [YRA自主事業]銭湯へ行こう
	24日(火)	[YRA自主事業]クレープパーティー
	26日(木)～7月8日(火)	七夕短冊飾り
	27日(金)	潮田交流プラザ第1回秋まつり実行委員会
	28日(土)	[YRA自主事業]江の島ツアー ボランティア情報交換会
	29日(日)	三ツ沢競技場サッカー試合ブース出展・グラウンド周回

2025年

開催日		事業名
7月	1日(月)~9月30日(月)	ホームビジット(夏期)
	8日(火)	9月退館者説明会
	7日(月)	KANAFANまつりブース出展
	12日(土)	地域交流会
	19日(土)	留学生との交流会(英語)
	23日(水)	万博国際交流プログラム 大阪・関西万博交流訪問
	23日(水)~26日(土)	仁川広域市サッカー国際交流事業参加
	25日(金)~8月8日(金)	入居者2次募集
	27日(日)	潮田西部地区合同納涼祭
8月	1日(金)	[YRA自主事業]韓国料理イベント
	2日(金)	[YRA自主事業]お別れ会
	7日(木)と21日(木)	個人オンライン英語サロン
	7日(木)~8日(金)	教育委員会「子どもアドベンチャーカレッジ2025」
	7日(木)	教育委員会 教えて!アフリカ先生!講座
	15日(金)	[YRA自主事業]キューバ料理パーティー
	20日(火)	第2次採用者入居開始
	22日(木)	潮田交流プラザ第2回秋まつり実行委員会
	23日(金)	[YRA自主事業]運動会
	24日(土)	[YRA自主事業]インドネシアディナーパーティー
	31日(日)	市大退館者退館期限
9月	1日(月)	ニュースレター よこはま地球村125号 発行
	6日(土)~7日(日)	支援物資の配給①(Stock Base)防災セット 横浜サイエンスフロンティア高校国際教室
	9日(月)	横浜デザイン学院多文化共生フィールドワーク受入授業
	17日(水)	市大交換留学生入居説明会
	19日(金)	[YRA自主事業]映画をみる会
	20日(土)	潮田交流プラザ秋まつり準備
	21日(日)	潮田交流プラザ秋まつり [YRA自主事業]お祭りお疲れ様会&ミニ送別会
	30日(火)	9月卒業生退館期限
10月	12日(日)	潮田西部地区運動会 多文化フェスタ@三ツ池公園に参加
	19日(日)	OBOG就職体験談会&OBOG会 [YRA自主事業]たこ焼き&お好み焼きパーティー
	29日(水)	【共催】寺尾地区センター文化講座「留学生に学ぶネパールの伝統文化」

## 2025年

開催日		事業名
11月	2日(日)	潮田西部地区支え愛パーティー
	8日(土)	ボランティア企画イベント【日本語と日本の文化①】おにぎりを作ろう!
	15日(日)	[YRA自主事業] フィンランド料理イベント
	16日(土)	潮田西部地区総裁訓練@汐入小学校
	26日(水)	支援物資の配給② (Stock Base)スーパーバランス
	26日(水)	横浜市主催「アジア・スマートシティ会議」企業ブース連携
	27日(木)	潮田交流プラザ第3回秋まつり実行委員会
12月	1日(日)	ニュースレター よこはま地球村126号 発行 2026年度入居者募集案内の配布
	13日(土)	3施設合同避難訓練 [YRA自主事業] 忘年会(鍋パーティー) クリスマスランタンフェスタ2025への協力
	14日(日)	本町通4丁目餅つき大会
	17日(水)	第1回退館者説明会
	18日(木)	企業見学会プログラム「横浜スタイル」1回目
	20日(土)	留学生による文化講座「南アフリカ」 [YRA自主事業] クッキーパーティー
	31日(火)	[YRA自主事業] 年越しCount Down

## 2026年

1月	4日(日)~28日(水)	2026年度入居者募集期間
	11日(日)	[YRA自主事業] バングラデシュディナーパーティー
	14日(水)	第2回退館者説明会 安否確認メール送受信訓練2回目
	18日(日)	日本語ボランティア研修&情報交換会
	24日(土)	留学生との交流会(日本語)
	27日(火)	企業見学会プログラム「横浜スタイル」2回目
	29日(木)	新入居者(RA)面接
2月	31日(土)	留学生との交流会(英語)
	1日(日)	ホームビジット(春期)
	2日(月)	入居審査会
	5日(木)	入居審査結果の掲載(ホームページ)
	8日(日)	送別会 (Farewell Party)
	14日(土)	【共催】潮田地区センター料理教室 ネパールの留学生に学ぶ簡単なスパイスカレー
	15日(日)	西部地区地域防災拠点開設訓練@汐入小学校 第3回退館者説明会
	25日(水)	よこよこネットワーク会議
	26日(木)	第1回入居契約説明会
	27日(金)	第2回入居契約説明会
28日(土)	ボランティア企画イベント【日本語と日本の文化①】「ひな祭り」	

2026年

開催日		事業名
3月	1日(土)	ニュースレター よこはま地球村127号 発行
	4日(水)	第4回退館者説明会
	6日(金)	鶴見区多文化共生ネットワーク会議
	7日(土)	[YRA自主事業] 餃子パーティー
	8日(日)	横浜ピース・サークル参加
	9日(月)	第3回入居契約説明会
	15日(日)	市大交換留学生退館最終日
	19日(木)	横浜サイエンスフロンティア高校「YSF-SDGs」授業
	27日(金)	退館最終日

# 第7章 2025年度予算決算書

(単位 千円)

		内 訳	予算額	執行額	備 考
収入項目	指定管理料	人件費	37,113	37,113	
		事業費	2,725	2,725	
		管理運営費	65,459	65,459	
		受託収入	0	2,648	物価上昇スライド分
		小 計	105,297	107,945	
	その他の収入	事業収入	800	3660	
		寄付金収入	20	0	
		設備機器利用料収入	4,500	4,359	
		雑収入等	80	596	
		受取利息	2	74	
小 計	5,402	8,689			
繰越金	前年度繰越金	1,882	0	修繕費支出のため補正	
	小 計	1,882	0		
収入合計			112,581	116,634	

支出項目	人件費	館長、副館長、職員(3人)、 非常勤職員(4人) 計7人	40,350	38,752		
	事業費	留学生・市民交流事業費	2,725	1,813		
	管理運営費		69,506	64,934		
	運営費(事務費)		5,198	5,385		
	公租公課費		2,900	4,847		
	委託費		33,000	30,003		
	設備管理		16,765	9,598		
	設備点検			5,395		
	警備		5,800	5,789		
	清掃		10,435	8,987		
	その他		0	234	受託事業他支出	
	修繕費		9,000	5,403		
	施設管理者保険料		130	130		
	光熱水費		19,000	18,889		
	電気		11,000	9,087		
	ガス		2,000	1,668		
	上下水道		6,000	8,134		
	経営安定積み立資産取得 及び一般会計繰入		278	277		
	支出合計			112,581	105,499	
	当期収支差額			0	11,135	

## 第8章 留学生統計

1994年5月の会館創立以来30年間に、多くの国・地域の留学生が入居しました。その数は2025年度末で95か国・地域の2390人に上ります。学生たちは現在、日本国内で、世界各地で、学問、芸術、政治、経済、行政、司法等あらゆる分野で活躍しています。

### 学生会館 OBOG の出身国・地域別状

2026年3月31日現在

出身国・地域	人数	出身国・地域	人数	出身国・地域	人数	出身国・地域	人数
1 中国	1007	24 フィリピン	12	47 オーストラリア	4	70 ウクライナ共和国	1
2 韓国	309	25 フランス	12	48 キルギス	4	71 オマーン	1
3 日本	106	26 エジプト	11	49 ケニア	4	72 オランダ	1
4 台湾	95	27 カンボジア	10	50 シリア	4	73 カザフスタン	1
5 ベトナム	90	28 パキスタン	10	51 スウェーデン	4	74 ガボン	1
6 アメリカ	76	29 フィンランド	10	52 チェコ共和国	4	75 ギリシャ	1
7 ネパール	52	30 スペイン	9	53 トルコ	4	76 コロンビア	1
8 イタリア	51	31 メキシコ	9	54 ハンガリー	4	77 コンゴ民主共和国	1
9 インドネシア	39	32 カメルーン	8	55 南アフリカ	4	78 シエラレオネ	1
10 バングラデシュ	32	33 ロシア	8	56 ヨルダン	4	79 ジンバブエ	1
11 マレーシア	32	34 イラン	7	57 南スーダン	3	80 ソマリア	1
12 スリランカ	28	35 ブータン	7	58 クロアチア	2	81 チュニジア	1
13 モンゴル	28	36 ウズベキスタン	6	59 ノルウェイ	2	82 チリ	1
14 インド	26	37 セネガル	6	60 ポーランド	2	83 トーゴ共和国	1
15 タイ	26	38 ブルガリア	6	61 マダガスカル	2	84 トルクメニスタン	1
16 ミャンマー	25	39 香港	6	62 ユーゴスラビア	2	85 パナマ	1
17 ブラジル	22	40 ラオス	6	63 ルワンダ	2	86 パヌアツ	1
18 ドイツ	21	41 ルーマニア	6	64 アイルランド	1	87 パラグアイ	1
19 オーストリア	19	42 ガーナ	6	65 アフガニスタン	1	88 ベナン	1
20 カナダ	18	43 ザンビア	5	66 アルゼンチン	1	89 ベラルーシ	1
21 イギリス	13	44 タンザニア	5	67 イエメン	1	90 ベルギー	1
22 エチオピア	13	45 マラウイ	5	68 イスラエル	1	91 ボスニアヘルツェゴビナ	1
23 ナイジェリア	13	46 ウガンダ	4	69 新疆ウイグル自治区	1	92 ボツナワ	1
						93 モルドバ	1
						94 ラトビア	1
						95 リベリア	1
						合計	2390

### 全国の状況

2022年	2023年	2024年	2025年
231,146人	279,274人	336,708人	408,069人

### 出身国・地域別留学生数

国・地域	留学生数 ( )内は2024年度	構成比 ( )内は2024年度
1 中国	131,097人(123,485人)	32.1%(36.6%)
2 ネパール	100,239人( 64,816人)	24.6%(19.2%)
3 ベトナム	43,366人( 40,323人)	10.6%(11.9%)
4 ミャンマー	29,413人( 16,596人)	7.2%( 4.9%)
5 スリランカ	17,626人( 12,269人)	4.3%( 3.6%)

※出典：(独)日本学生支援機構による「外国人留学生在籍状況調査」より

